

■ 評価結果 ■

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築-2016年版、名古屋大学環境施設利用創生局マニュアル2016 | 使用評価ソフト: CASBEE Nagoya 2016(v1.0)

3 設計上の配慮事項		その他
総合 ペアガラス・高効率設備・ノンフロン断熱材を積極的に採用しています。		特にありません。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用し、化学汚染物質による空気汚染を回避しています。	Q2 サービス性能 給排水配管において更新必要間隔の長い配管を使用したり、維持管理しやすい設計となっています。	Q3 室外環境（敷地内） 連続する塀ではなく見通しのいいフェンスを採用することで防犯性・防災性に配慮しています。
LR1 エネルギー LED照明や、潜熱回収型の給湯器など、高効率設備の導入し、環境負荷への配慮をしています。	LR2 資源・マテリアル 躯体と仕上げ材が容易に分別できる材料を使用しています。	LR3 敷地外環境 外部に漏れる照明について、点滅させたりしません。広告物照明も設けません。

1/2

重点項目スコア・結果シート

(仮称)平和二丁目計画 新築工事

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v1.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.1
LR1	エネルギー	3.3	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.1	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生				1.6
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				2.8
LR2.1	水資源保護	3.0	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.8	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.5	0.016666667	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.1



2. 自然共生

評価点 = 1.6



3. 循環型社会

評価点 = 2.8



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。